

心理学部 父母会会報



D O S H I S H A
U N I V E R S I T Y
Faculty of Psychology

No. 02

June.2010





■「発足2年目を迎えて」～ごあいさつ～	4
■総会報告・2010年度 父母会役員.....	5
■2009年度決算・2010年度予算・2010年度事業計画.....	6
■設備の充実.....	7
■都道府県別会員数.....	8
■学部イベント	9
■学部インフォメーション	11
■学生レポート1 「The 新入生」	12
■学生レポート2 「ゼミ探訪」	13
■学部生の活躍1 課題プロジェクト活動リポート	14
■学部生の活躍2 Do 心理学!!【サークル紹介】【留学生報告】	15
■わたしの学生生活.....	16
■ご父母より.....	17
■教職員メッセージ・新任教職員紹介	18
■新島襄クイズ	20
■学生生活Q&A.....	21
■大学インフォメーション	22

新入生・ご父母の皆様 ご入学おめでとうございます。

心理学部父母会は、去年7月の総会に始まり、秋には大学主催の同志社キャンパスフェスタと同時開催で心理学部地方懇談会を行いました。地方懇談会では子供達の日常や大学での状況、就職に関する情報など多くの話題で盛り上がりました。教職員の方々のご尽力とご父母の皆様のご協力により無事2年目を迎える事が出来ました。改めて感謝申し上げます。

子供達は、多くの人と出会い、多くの事を学び日々切磋琢磨しています。父母会では大学と密に連携し陰ながらサポート出来ればと考えております。また、学年を問わず語らいの輪が大きく広がると楽しみにしています。今後とも父母会活動へのご参加、ご協力をよろしくお願い致します。

父母会副会長 村田 幸子



「発足2年目を迎えて」 ～ごあいさつ～



お子様のご入学・ご進級おめでとうございます。

心理学部は、この4月で2年目を迎えました。同志社に心理学が根付いてから80余年が経ち、基礎と臨床・応用を結ぶ研究と教育のスタンスは、社会の中で実を結びつつあります。

今春の工事で知証館の心理学実験施設も拡充し、学生が実証的な学びに取り組みやすい環境となっています。また、心理臨床センターの施設を新たに設置し、学外からクライアントを受け付け、大学院生の臨床技能を実践的に養うためのコースを大学院におく計画も進めております。

ご父母の皆様にもご理解とご支援を賜り、学生の成長をともに支えて参りたいと思います。今年もよろしくお願いの程申し上げます。

心理学部長 内山 伊知郎

■ 総会報告

【2010年度心理学部父母会総会報告】

5月8日(土)、夢告館102教室において、2010年度心理学部父母会総会が開催され、先生方を含め総勢63名の方々が出席してくださいました。

議事に先立ち、内山学部長よりご挨拶と主催者紹介(ご父母代表・学部長・教務主任・学生主任・事務長)が行われました。続いて父母会会長からの挨拶の後、議事「2010年度役員選任」「2009年度 事業報告・決算報告」および「2010年度 事業計画(案)・予算(案)」について、それぞれ審議の結果、

承認されました。総会終了後は、自然系等実験実習棟にて実験室見学を行い、模擬実験などを体験していただき、心理学を学ぶ環境に触れる事ができ好評でした。その後、校地内にあるレストランにおいて懇親会が開かれ、ご出席者全員に自己紹介をしていただき、終始和やかな雰囲気での親睦を深めていただけました。最後に、今回は近畿圏はもとより関東や四国方面からも足をお運びいただきましたこと改めて感謝申し上げます。



定期総会



実験室見学



懇親会

【臨時役員会報告】

総会終了後、「2010年度役員会の構成について」協議を行うため、臨時役員会を開催しました。その結果、総会で選出していただいた役員の役職変更および委員追加が承認されました。本紙面をもって、ご報告させていただきます。(以下、参照)

■ 2010年度 父母会役員



【父母役員写真】

(後列左より) 森川、永野、田井
(前列左より) 村田、保坂 (敬称略)

※都合により、黒澤委員は写真掲載ありません。

【父母役員】

【会 長】 永野 三和子(2年)
【副会長】 村田 幸子(2年)
【副会長】 田井 明美(1年)
【監 事】 保坂 美津子(1年)
【委 員】 森川 久美子(2年)
【委 員】 黒澤 佳代子(1年)

【参 与】

内山 伊知郎(学部長)
中谷内 一也(学生主任)
杉若 弘子(学生主任)
青山 謙二郎(教務主任)
木下 裕之(事務長)

■ 2009年度決算・2010年度予算

	項 目	2009年度				2010年度	備 考
		予 算	決 算			予 算	
			父母会計	大学会計	小 計		
収入の部	前年度繰越金	0	0	0	0	248,145	
	会 費	450,000	453,000	0	453,000	1,800,000	300 (父母2学年) × 6,000 (春・秋学期)
	準備金利息	0	0	0	0	0	
	大学会計より	0	0	197,016	197,016	900,000	
	合計	450,000	453,000	197,016	650,016	2,948,145	
支出の部	会報発行費	100,000	80,220	0	80,220	600,000	年2回発行
	父母懇談会費	110,000	22,760	7,000	29,760	300,000	父母会懇談会開催 (会場使用料、湯茶代など)
	学生援助費	10,000	0	0	0	30,000	見舞金等
	学術研究助成費	10,000	0	0	0	50,000	講演会補助等
	教育補助費	0	0	0	0	300,000	学生向け教育支援 (図書購入、 セミナー参加、施設見学など)
	謝 礼	0	2,000	0	2,000	10,000	会報誌原稿に対する謝礼
	慶弔費	20,000	0	0	0	50,000	会員宛供花料等
	集会費	50,000	18,360	0	18,360	100,000	役員会、参与会他
	人件費	0	0	0	0	330,000	職員給与
	事務費	80,000	48,635	77,696	126,331	300,000	印刷費、郵送費(総会・懇談会 案内、会報・成績発送費)
	旅費・交通費	60,000	9,000	112,320	121,320	250,000	地方懇談会など旅費、交通費 (役員・教職員)
	雑 費	6,000	23,880	0	23,880	150,000	記念品、郵便振替手数料
	予備金	4,000	0	0	0	478,145	
	合 計	450,000	204,855	197,016	401,871	2,948,145	

■ 2010年度事業計画

日 付	行 事	場 所
2010年4月1日(木)	入学式・新入生父母交流会(新役員人選)	京田辺キャンパス知真館
5月8日(土)	役員会・総会(施設見学、懇親会)	京田辺キャンパス夢告館
6月ごろ	父母会会報No. 2 (春号) 発行	
10月30日(土)	京都地区懇談会(同志社京田辺祭にて開催)	京田辺キャンパス
10～11月	地方懇談会(キャンパスフェスタ)	各地 (P.23参照)
12月ごろ	父母会会報No. 3 (秋号) 発行および成績表郵送	
2011年1月	参 与 会	
3月	役 員 会	

心理学部
について

設備の充実

心理学部実験実習施設をご紹介します。
今後も実験的手法を重視した教育・研究を実現させるため、さらに充実した設備環境を整えていきます。

ビジュアルクリフ (今出川校地)

視覚的断崖(ビジュアルクリフ)を隔てて母親が赤ちゃんに呼びかけたときの反応を観察する装置です。赤ちゃんがどれぐらいの月齢で深さを警戒するようになるかを確かめることができ、現在の実験結果では、9ヶ月児では深さを認識していることが分かっています。



360° 映像刺激装置

実験参加者を取り巻く臨場感のある環境を作り出すことができます。



バーチャル刺激装置 (今出川校地)

3次元の仮想現実の映像刺激を提示し、赤ちゃんの体の動きや生理反応を測定して、赤ちゃんが環境に対して反応する様子が見られます。



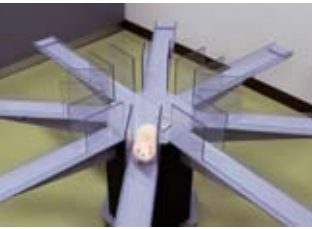
手術室

生理心理学の実験のための外科手術を行ったり、脳標本の作製や染織を行います。



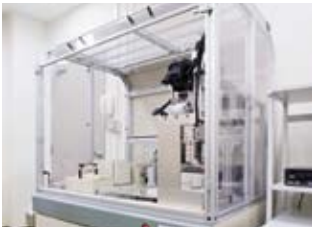
心理学資料室 (今出川校地)

現在の蔵書数は約8,500冊、大学における心理学関連の蔵書数では、国内有数です。



8方向放射状迷路

動物の空間についての学習や記憶を測定します。



ELISA分析機

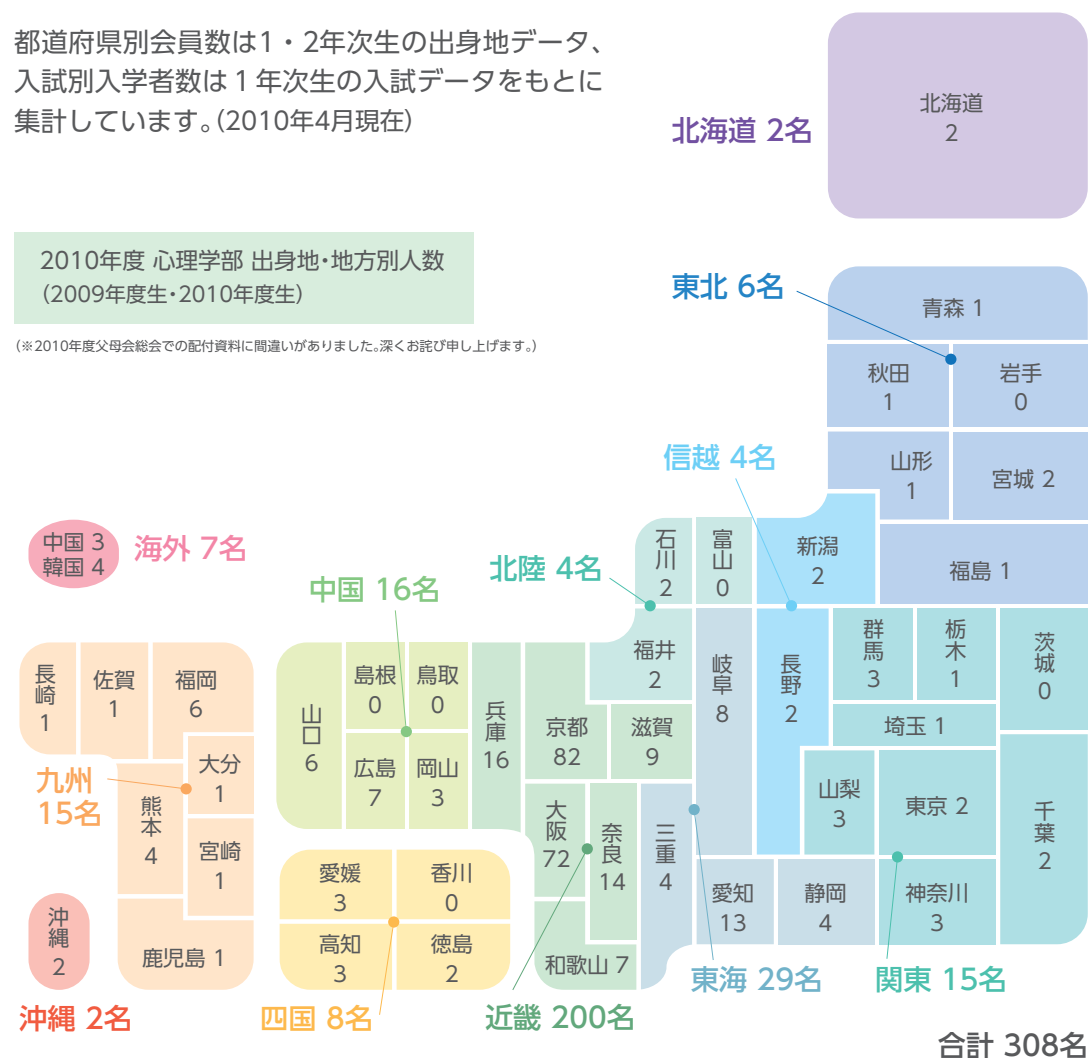
ストレスホルモンなどの物質を分析します。

■ 都道府県別会員数

都道府県別会員数は1・2年次生の出身地データ、
入試別入学者数は1年次生の入試データをもとに
集計しています。(2010年4月現在)

2010年度 心理学部 出身地・地方別人数
(2009年度生・2010年度生)

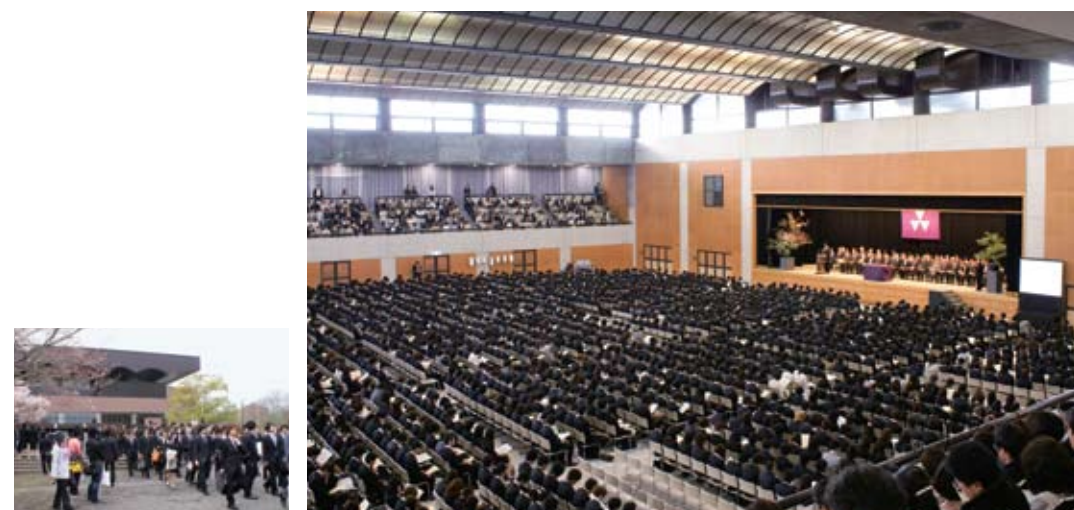
(※2010年度父母会総会での配付資料に間違いがありました。深くお詫び申し上げます。)



■ 入試別入学者数

	入学 定員	一般 選抜 入試	大学入試 センター 利用入試	推薦入学				AO 入試	留学生 入試	合計
				公募制	指定校制	法人内 諸学校等	初任教主義 学校の連携 ネットワーク			
2010年度 心理学部 入学者数	150	71	1	5	17	40	4	7	3	148

■ 学部イベント



入学式

4月1日、2010年度同志社大学入学式がデイヴィス記念館で行われました。満開の桜が咲き誇る中、心理学部には1年次生148名が入学しました。



父母交流会

4月1日入学式の後、知真館2号館にて、新入生ご父母対象の父母交流会を行いました。同交流会では、内山学部長ご挨拶に引き続き、教員紹介、学生主任による学部紹介（年間スケジュール・科目登録・成績通知など）を行い、最後に、永野会長から父母会の趣旨説明、活動紹介や役員紹介があり、今後の活動へのご協力をお願いしました。



心理学部シンポジウム

2009年11月15日、「安らかな食を楽しむために－安全への取り組みと心理学」というテーマで心理学部開設記念シンポジウムを実施しました。豊かな食生活を送る日本ですが、食品の産地偽装問題など、食への不安が高まっています。こうした現状をパネリスト4名が多角的にアプローチし、約250名の来場者は熱心に耳を傾けていました。



国際学術交流協定

心理学部は韓国・中央大学校 (Chun-Ang University) 心理学科と学術交流協定を締結しました。5月7日、両校の教員が今出川校地に集い、締結調印式を行い、続いて研究教育について意見交換を行うセミナーが行われました。今後は、双方の教員、大学院生、学部生の学術・人的交流を促進する事業が企画・実施されます。



■ 心理学部イベント

6月19日(土)	心理学会・心理学同窓会共催 “卒業生と在学生の懇話会” 【心理学科生、心理学部生、心理学研究科生対象】
7月11日(日)	ボウリング大会 【心理学科生、心理学部生、心理学研究科生対象】
7月25日(日)	京田辺校地 オープンキャンパス ・心理学体験コーナー (心理学の簡単な実験を体験していただけます) ・模擬講義 (心理学部教員が行います) ・心理学部説明会【どなたでもご参加いただけます】
8月1日(日)	今出川校地 オープンキャンパス ・模擬講義 (心理学部教員が行います) ・心理学部説明会【どなたでもご参加いただけます】
10月頃	ソフトボール大会(予定) 【心理学科生、心理学部生、心理学研究科生対象】
10～11月	心理学部地方懇談会 大学主催 キャンパスフェスタと同時開催 (開催場所はp.23参照) ※京都地区は10月30日(土)同志社京田辺祭にて開催予定 (詳細未定) 【どなたでもご参加いただけます】
秋頃	心理学部開設記念シンポジウム(詳細未定) 【どなたでもご参加いただけます】

詳細未定のイベントが多数ですが、その他のイベントも含め、随時心理学部ホームページにてご案内します。ぜひご覧ください。



同志社大学心理学部

検索

<http://psych.doshisha.ac.jp/index.html>

The 新入生

4月10日(土)～11日(日)、新入生歓迎オリエンテーション合宿が行われました。合宿では、研修を通じて心理学の心得を学び、スポーツ活動を通じて教員や同級生との交流を深めました。そして、本格的に授業も始まった1年次生にいまの気持ちを聞いてみました。



■ 新入生歓迎合宿



合宿を終えて

心理学部心理学科1年次生
井上 麗さん

大学のキャンパスは、見渡せば人、人、人。誰に話しかければいいのかわからない。そもそも誰と友人になれるのかわからない。入学式からの数日間、私はずっと「これは無理」を繰り返していました。そんな中、実施された新歓合宿。同じ学部とはいえ、ルームメイトさえ一度も話したことのない人達。けれども顔を合わせてみると、部屋に着いてからのものの5分としないうちに、まるで昔からの友達だったように気兼ねなく笑いながら話している

自分がいました。合宿という一つの空間と時間を共に過ごしたことで、学生同士だけでなく、先生方との距離も縮まり、入学当初の不安感はいつの間にか無くなっていました。まだ大学生活は始まったばかりですが、この合宿で多くの友人を得、そして自分自身の視野を広げていく良いきっかけになったと思います。ありがとうございました。

■ 今後の抱負



心理学の勉強をはじめて

心理学部心理学科1年次生
上田 有果里さん

心というのは目に見えないし不確かで、心を持つ者同士、関わり合いの中で、ある意味一生手探りのような状態が続くのだと思います。そのことが時々ふと怖くなり、最近流行った「血液型別診断書」の類の本なんかで性格がズバツと言いついてあると、ついつい自分や他人のことが分かったような気になって安心してしまっていました。もちろん、実際そんなことはありませんが…。

先日授業で教わったところ、心理学の研究方法は、まず仮説を立て、それを検証して評価し、最後に

研究結果を公開する、という科学的根拠のある方法で実験が行われます。「分かったような気になる」のは楽ですが、自己満足にしかならないなあと反省しました。心は不可解で怖い、しかしだからこそとても魅力的だとも感じます。心理学を学び始めて一年目、まずは授業で教わることをすべてを吸収し、「心理学概論」をボロボロになるまで読み倒したいと考えています。



鈴木 直人ゼミ

ゼミとは？ クラスの分け方は？ 研究テーマは？ …
毎号、2年次生にゼミ訪問をしてもらい、素朴な疑問を解決していただきます。



ゼミのイメージ

心理学部心理学科2年次生
森川 沙耶さん

今回、私は鈴木先生の研究室に行き、ゼミについてお聞きしました。最初にゼミを選ぶときに大まかな説明があり、鈴木先生の場合は1人1論文書くといったような条件もあるそうです。それから希望調査をしてどのゼミに行くかが決まります。仮に希望人数がゼミの上限人数を越えても、成績順で決まることはないそうです。最後にゼミは卒論を書くために行うが、人がやりたい分野

は視点を変えることでその人が思っている分野と違う分野に変えることもできるから、今の時点でやりたい分野はあまり縛らないほうがいいと鈴木先生にアドバイスを頂きました。今回、お話を聞くまでゼミについてあまり知る機会がなかったのも、ゼミで自分がどういうことをするのかということがイメージできました。



鈴木研究室訪問を終えて

心理学部心理学科2年次生
村田 浩子さん

私は鈴木先生の研究室を訪問し、ゼミについて聞かせて頂きました。ゼミは、3回生の秋から始まり、主に卒業論文を書く事と、プレゼミと呼ばれるものの2つに分かれます。プレゼミとは週に一度、実験のディスカッションを行う等先生によって様々な事をします。ゼミに入る事で先輩・後輩の関係もできていきます。

今回先生のお話で、自分がゼミに対して漠然と抱いていた思いが変わり、どのゼミに入りたいかを今から心理学の授業やプロジェクト演習などで考える事が大事だと思いました。学んでいく事に対して好奇心をもって、そしてゼミや卒論を悔いのないように迎えることができればいいなと思いました。



Teacher's Voice

心理学部心理学科
鈴木 直人 教授

大学とは何をするところか

大学は、高校までのように知識を詰め込むところではありません。これから自分が生きていくための“ものの見方”、“考え方”を作っていくところです。その手伝いをすることが私たち教員の仕事です。自分から求めないと何も与えられません。しかし求めれば必ず何かが与えられる、それが大学です。

■ 課題プロジェクト活動レポート

心理学部では、課題研究・調査研究の活性化を目的とする熱意ある学生を公募し、補助金を支給する制度があります。個人あるいはグループで心理学に関連する分野での課題プロジェクトを決め、プロジェクト終了後に成果報告書を提出します。

テーマ 気分・行動の季節性変化と自己没入・自己観の個人差との関連

【要旨】

本研究の目的は、健常者を感情が季節から受ける影響の程度によって分類し、抑うつとの関連が指摘される自己没入および相互独立的自己観・相互強調的自己観という自己観の個人差との関連を究明することであった。同志社大学の学生49名(男性26名、女性23名)を対象とした質問紙調査を行った。感情の季節性変化に関する自己記入式質問表の集計より、被験者は低季節性群と高季節性群とに分類でき、その比率は概ね50%であった。これと自己没入および自己観の個人差との関連を解析した結果、性差を含めて有意差は認められず、明らかな関連はないことが判明した。



課題プロジェクト活動を終えて

心理学部心理学科2年次生
宿南 伽奈さん

課題プロジェクトの存在を知ったとき、咄嗟に「やってみたい」と強く思いました。心理学という分野で、日頃から疑問に感じていたことを自分で調べられるチャンスだと考えたからです。ところが、実際にプロジェクトに取り掛かりアンケート調査を行ってみると、調査の予定や予算の使い方、資料集めなどの困難さに直面し、今まで自分がどれだけ安易に考えていたかを知りました。しかし、顧問の先生が丁寧に指導してくださり、出来上がった報告書を提出したときは、達成感で一杯になりました。調査の成功や失敗に関わらず、自分がやりたかったことをやり遂げられた嬉しさは、とても大きいものでした。

これからも、自分の学問的興味を発展させることができる機会を大切にするつもりです。



プロジェクト課題補助認定書



Teacher's Voice

心理学部心理学科
田中 あゆみ 准教授

【顧問より】

宿南さんは、前例のない中で、応募の書類を整え、研究を設計・実施し、報告書を仕上げるという一連のプロセスを、確実にこなすことができました。これは大きな成果であり、この制度を使ってより多くの人が経験してほしいことです。今後は心理学の専門知識をさらに身につけ、より深みのある課題に挑戦してほしいと思います。

Do!!
心理学!!

■ 心理学サークルCOPIDのご紹介

正式
サークル名

Circle Of Psychology In Doshisha

【発足】 2009年4月、「心理学サークルCOPID」発足。きっかけは、より心理学に触れる機会を増やしたい、そして、学年を超えた縦のつながりを作りたいと思ったからです。現在、約60名で活動しています。

● 初代会長コメント

文学部心理学科3年次生 松岡 輝君

昨年度のサークル発足という「初挑戦」はお蔭様で無事乗り切ることができました。試行錯誤の連続は、私たちにとって大変貴重な経験となりました。今年度は嬉しいことに、1年次生約40人が加入し、大所帯での活動となります。更なるご支援・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

● 2代目会長コメント

心理学部心理学科2年次生 釜本 直宜君

COPIDは、現3年次生が創設した団体であり、今年は多くの1年次生が入会してくれました。これから会長として責任感を持ち、自分に何ができるか、何をすべきかを常に意識しながら、人数の多さをプラスにしていけるよう全力で取り組みます。



【2009年度活動内容】

年 月	内 容
2009年	4月 発足
	卒業生の進路調査
	レポート講習
	5～6月 実験Ⅰ
	7～9月 研究室訪問
2010年	夏休み リトリートへ研修旅行
	10月 研究室訪問結果報告
	11月、12月 実験Ⅱ
	1月 実験Ⅱの考察会
2010年	統計学講習
	3月 役員交代
	レポート講習



Teacher's Voice

心理学部心理学科
畑 敏道 准教授

【顧問より】

COPIDは学生自らの手で運営されており、私はそれを遠くから見守っているというのが実情です。過剰ではないかと思えるくらい大学側がお膳立てを整えることが多い中で、このような自主的な活動が勉学の面でなされていることに、頼もしさを感じています。

■ 留学生報告



心理学部心理学科
2年次生
朱 映菡さん

留学生生活2年目を迎えて

日本に来てから早くも二年目を迎えました。最初、同志社大学に入学したときは、科目登録がすごく大変でした。中国の大学では、科目登録はほぼ学校側に決められていたので、このような時間割表を自分で作るとはとても難しいことでした。しかし、講義が始まってからは、すごく嬉しかったです。先生方は講義で心理学についていろんな話をしてくれますし、実験室では身をもって心理学の面白さを体験できます。また、同じ実験班のメンバーと仲良くなって、たくさん気が合う友達ことができました。その友情を大切に、楽しい留学生生活を続けたいです。ここで感じる日本人の優しさや慎重さ、そして思いやりは、イメージだけではなく生活の中で生きている文化だと思います。



貴重な学生生活

土井 智香子さん [心理学部心理学科2年次生]

学生生活は特殊で、多くの人に守られています。私は自立していないし、日頃学外の人に接する機会はほとんどなく、大学という媒体を介して世間に触れていると感じます。それを自覚したら学生生活が貴重に思えました。学問はもちろん、例えば自炊を頑張ったり教養を積んだり学外で活動

したり、今更ながらすべきことがたくさんあるのだと気づき、いま取り組んでいます。

そこかしこにあるのに見落としてきたキッカケや今ここでしかできないことを、自分で判断し克服する時のために、これから大事にしたいです。



親のありがたみ

石本 龍太郎さん [心理学部心理学科2年次生]

私は大学の近くの三山木で下宿しています。下宿をしていて一番思うことは、親のありがたみです。実家で暮らしているときは家に帰ればご飯があることが当たり前だったのですが、今は食事、洗濯、掃除などの家事すべてを自分でしなければなりません。これらのことをやってもらえることは本当にありがたいことだと感じています。

また、私は将来テレビ局に就職するのが夢で、こちらに来てからテレビ局でアルバイトをしてい

ます。このことは私にとって非常に大きな経験になっています。お金を稼ぐことの大変さを学ぶことができ、社会勉強にもなります。

学生生活において勉強も非常に大事なことです。この4年間は生涯の友人を作り、また社会勉強の場としても非常に貴重な時間です。大学に通わせてもらっていることに感謝し、これからも有意義な学生生活を送っていきたいと思います。



心理学部2年次生になって

永野 里紗さん [心理学部心理学科2年次生]

心理学を学び始めて1年がたちました。大学生活にも慣れ、充実した毎日を送っています。2年次生になり、心理学の専門科目の授業が増えました。そして、改めて心理学はたくさんの分野があり、心理学という学問の大きさに驚きを感じています。授業は難しいことも多いですが、1年次生の時よりも真剣に心理学と向き合っている気がします。また、やはり心理学はおもしろい、奥が深いと実感しています。これからもっと大変になると思いますが、たくさんの頼りになる友達と励ましあいながら、心理学を学んでいこうと思います。



お母さんの元気の源

長谷 久美子

(心理学部心理学科2年次生 長谷 和久)

「息子にメッセージを」と、大学・心理学部よりお話があり、突然の事で戸惑うばかりです…。

和久君とは、日々葛藤する中で、心の通じ合いを信じつつ今日までの日々が全てでしたね。そんな中で、あえて一言、和久君にメッセージするならば…。

「あなたは大事なもんだ。身体のハンディを持ちつつ自分の未来図を描き大学・学部の選択を始め着実に実現していく姿はお母さんの元気の源となっています。

でも余り頑張り過ぎないでね…。今は学生生活を大いに楽しんで下さい。楽しむことの中から大切な事柄を得られることが多いのです。怒り・嘆きの中からは得られません。お母さんにとっても和久君の笑顔が一番です。そうすれば多くの事柄に対処する“知恵”の基が湧いてくる事でしょう。」

母より



人として

末瀬 一彦

(心理学部心理学科2年次生 末瀬 慧)

自らを見つめ直す事が、人間としての基本であると思う。私も医療に携わる者として、人の病を治す以前に「人の心のケア」ができればならないと思っている。最近医療機器の革新は目覚ましいが、それを操作するのは人であり、その対象となるのは人間である。基本は人対人である。

娘には、健康であることは一番であるが、社会人として自らの個性や考えをアピールする事も大事にしてほしい。だが、人を押しのけて自分が一番ではなく、常に謙虚さを忘れず、人の心の痛みが分かる人、そして、人として思いやりがあり、心豊かに素直に表現できる人になってほしいと思う。

父より



ファーストイヤーセミナーについて

心理学部心理学科 神山 貴弥 教授

心理学部では、1年次春学期に必修で「ファーストイヤーセミナー」という授業を設けています。高校までの授業ではどうしても受け身な学びになりがちですが、大学では自ら学びを深めていくことが求められます。そこで本授業では、この大学での学びに必要な基本的スキルを身につけることをねらいとしています。大学の情報資源の活用の仕方（図書館利用法、コンピュータを使っ

た機器やソフトの使い方、レポートのまとめ方や発表の仕方などについて、グループでの協同学習も交えながら順次学んでいきます。また、この授業は1クラス20名程度の少人数クラスとし、すべてのクラスを専任教員が担当してきめ細やかな指導・対応を実現しています。このような授業等を通して、おさま方が順調に大学生活を送れるよう今後も引き続き支援してまいります。



プロジェクト演習について

心理学部心理学科 中谷内 一也 教授

皆さんはPBL (Project-Based Learning) という言葉を目にされたことはおありでしょうか？ PBLは世間的にはまだなじみのない言葉ですが、教育の世界では、注目を集めている教育方法のひとつです。一般的な講義科目では教員が授業目標や講義内容を設定し、学生がそれを吸収していくというかたちをとりますが、プロジェクト型科目では、大まかな枠組みは教員が設定するものの、具

体的な目標や得ようとするアウトプットを学生自身が定め、そのためのプロセスも学生自身が考えて運営していきます。この“学生次第”というやり方は、実は、教員にとっても負担が大きいものなのですが（そのために12人もの教員が担当します！）、心理学を基盤にした問題発見能力、問題解決能力を身につけるうえでたいへん有効であると考えています。どうぞ、成果をご期待ください。

【心理学部事務室より職員メッセージ】



わたしと心理学部

心理学部・心理学研究科事務室 高橋 美帆

私は、心理学部事務室の前身である心理学部設置準備室から勤務しております。心理学部を立ち上げるために、いろいろな業務がありました。大きく分けると、心理学部を創り上げる業務と、心理学部を広く知っていただくための広報業務の2つです。学部設置の認可が文部科学省から下りるまでには、前者の業務が中心でしたが、認可が下りると、2つの業務を同時に進めていかないとけないのが、とても大変でした。しかし、2009年4月1日に無事に新入生を

迎えることができ、その大変さは喜びと誇りに変わりました。もちろん私たちだけの力で学部が完成したわけではありませんが、同志社大学の長い歴史の中で、「2009年心理学部・心理学研究科開設」に関わったことは、本当に喜ばしいことだと思っています。

心理学部も2年生になりました。学生数も増えましたが、「人一人ハ大切ナリ」という新島襄先生のお言葉を忘れず、一人一人に思いやりを持って、接していこうと思います。



下宿生に向けて

心理学部心理学科 杉若 弘子 教授

心理学部では、今春、2期生をお迎えすることとなり、昨年にも増して学生間の交流が活発になっていくものと期待しております。ことに、初めての一人暮らしを経験することになる学生さんにとっては、身近な同級生や先輩から得られるサポートほど心強いものはありません。慣れない間柄であっても、時間と空間を共有しているうちに馴染みは生まれてくるもの。コミュニケーションの仕方な

どにはこだわらず、まずは仲間のいる場所に身を置き、共に過ごす時間を大切にしてもらえればと願っています。また、父母交流会の折などに、一人暮らしを始めるまでのつなぎの場として、京田辺校地にも学生寮が整備できないものかのご要望をお聞きする機会がございました。学内でも、機会あるたび発信していきたいと思っております。

新任教員紹介

①職名 ②主な担当科目 ③メッセージ



武藤 崇
(むとう たかし)

①教授
②行動分析学
③同志社から日本の臨床心理学に新たな風を。



竹原 卓真
(たけはら たくま)

①准教授
②認知心理学
③教育・研究に全力投球する所存です。



及川 昌典
(おいかわ まさのり)

①助教
②実験社会心理学
③学生の皆さんの熱い期待にお応えします。

新任職員紹介

①職名 ②メッセージ



木下 裕之
(きのした ひろゆき)

①事務長
②スタッフ一同、全力で支援してまいります。



川瀬 智子
(かわせ ともこ)

①実習助手
②授業、実験をしっかりサポートします！



福居 希望
(ふくい のぞみ)

①実習助手
②学生と共に成長したいと思います。

新島襄クイズ

新島くんが出題するクイズに挑戦!!

新島襄検定問題集より抜粋

【正解数】

全 問…立派な同志社人！
4～5 問…もう少しで同志社人！
2～3 問…気持ちは同志社人！
0～1 問…がんばれば同志社人！

全問正解できるかな？



Q1

新島襄の幼名は、祖父・弁治が男子誕生に歓喜して叫んだ言葉に由来すると言われてい
ます。さて、その言葉とは？

①しめた！ ②あっぱれ！ ③見事！

七五三太(しめた)。14歳で元服を遂えろと
名を改めた。

①しめた！

Q2

新島襄は、母・登美の勧めで将来の出世に役
立つように8歳の頃からある習い事に通い始
めました。さて、その習い事とは？

①礼儀作法 ②茶道 ③馬術

父以上出世するようその母親の願いで
礼儀作法の塾に通い始めた。

①礼儀作法

Q3

新島襄が遺言の中で真っ先に述べたのは、教
職員が学生に対してとるべき態度でした。
さて、その態度とは？

①厳しく指導する ②依怙^{えい}最^{さい}賁^{ひん}しない
③丁寧に^{ていねい}対応する

③丁寧に^{ていねい}対応する

Q4

学生想いの新島襄の遺書の中には、「○○○
○(漢字4文字)の学生を圧束しないように」
ともあります。さて、その4文字とは？

①天真爛漫^{らんまん} ②質実剛健^{しつじつこうけん} ③倜儻不羈^{てきとうふき}

「才気が優れ、独立心が旺盛で、
素直で律しなかった」という意味の言葉。

③倜儻不羈

Q5

新島襄の趣味のひとつは狩猟で、狩猟犬の
ビーグルを飼ったこともありました。
さて、この犬に彼がつけた名前は？

①ニッキイ ②武蔵 ③弁慶

③弁慶

Q6

同志社の今出川キャンパスには、重要文化財
に指定されたレンガ造りの建物が5棟あり
ます。さて、最初に建てられたのはどの建物？

①ハリス理化学館 ②彰栄館
③同志社チャペル

1884年彰栄館竣工。続いて同志社チャペル
/ハリス理化学館などが1894年までに完成。

②彰栄館

▶ 学生生活 Q&A

CAMPUS Q&A

学生生活における心理学部へのよくある質問にお答えします。

Q1

大学院への進学準備はいつか
ら始めたらいいか？
1・2年次生のうちから勉強
しておくべき内容は？

A

一般的には3年次生秋頃に就職するか
進学するかを決定し、その頃から進学
に向けての勉強を始めています。1・2
年次生の間は、授業をしっかり聞いて、
理解するよう頑張ってください。

Q2

就職準備はいつから？
(就職支援の体制についてなど)

A

3年次生夏～秋頃にかけて始めるのが一
般的だと思います。就職活動の際は、大学
生活で何をしてきたのか？ということが
重視される傾向にあります。漠然とした
日々を過ごすのではなく、何か目標や意義
を持った日々を過ごすようにして、その
経験を就職活動に活かしてほしいと思い
ます。
プレゼミ(3年次生秋学期から)などで教
員や先輩に相談することもできます。

Q3

勉強とクラブ・サークル、バイ
トなどの両立が大変です…
単位は大丈夫？

A

大学時代はやりたいこともたくさんあ
るでしょうから、いろいろと挑戦する
ことはとても良いことだと思います。
授業にも同じような気持ちで臨んでも
らえれば問題ないです。ただし、授業に
出席することが大事です。

Q4

先生と授業以外でももっと
いろいろ喋る機会が欲しい！

A

ソフトボール大会やボウリング大会、懇親
会などを年に数回開催しています。教員は
もちろん、1年次生から大学院生まで幅広
い参加者が集いますので、学年を超えた懇
親の場になります。1・2年次生のうちから
ぜひ積極的に参加してほしいと思います。

Q5

心理学に関する講演会や
セミナーなどを開催してほしい

A

心理学会・心理学同窓会共催で、同志社
心理卒業生による講演会・懇話会を年
1回開催しています。その他にも、学外
から講師を招いた講演会も開催してい
ます。ホームページなどでご案内して
いますので、ぜひご覧ください。

Q6

親元離れての下宿生活などが
不安。心理面での援助をしてもら
えるような場はある？

A

心理学部には学生主任の教員や実習助手
がいますので、お気軽にご相談ください。
もし直接相談しづらいようなことがあれ
ば、大学には学生支援センターやカウンセ
リングセンターもありますので、そちらへ
もぜひご相談ください。

■ イベント情報

同志社大学創立135周年記念行事

● 創立135周年記念「フォトコンテスト」実施
「新島襄の志と同志社の伝統」をテーマに、同志社各学校の在校生、卒業生、教職員及び広く一般を対象として募集します。

【期 間】2010年4月～9月

【表 彰】2010年11月29日

創立135周年記念式典において入選者を表彰します。



● 創立135周年記念「懸賞論文」募集

「新島襄と同志社」をテーマに、一般、大学生、高校生、中学生を対象として募集します。

【期 間】2010年6月～

【表 彰】2010年11月29日

創立135周年記念式典において入選者を表彰します。

● 能「庭上梅」と「講演」

日本が誇る世界無形遺産（能楽）という形式により、新島の精神をより多くの人々に伝え、後世にも遺したいという制作理念のもとに創作された能「庭上梅」を名古屋で行います。

【日 時】2010年11月13日(土)16:00

【場 所】名古屋能楽堂

【第1部】講演 講師／本井 康博 神学部教授

【第2部】能「庭上梅」－新島 襄を讃えて－



● 創立135周年記念「東京新島講座」－生誕の地において－

【日 時】2011年2月12日(土)13:00

【場 所】東京神田一ツ橋 学士会館

【講 師】未定(2人を予定)

※詳しくは<http://www.doshisha.ed.jp/>をご覧ください。

Neesima Room第37回企画展

● 「目的の大なる人物を」
－創設期の学生たち－

【期 間】2010年4月1日(木)～7月31日(土)

入場無料

【会 場】今出川キャンパス ハリス理化学館

2階 Neesima Room



● 公開講演会

「中東有カメディアの現状とその影響力ーアル＝アハラーム新聞とアル＝ジャジーラTVー」

【日 時】2010年6月17日(木)14:00～16:00

【会 場】今出川キャンパス 神学館3階 礼拝堂

【講 師】ムハンマド・シュケイル(アル＝ジャジーラ放送 番組編集者)

カマル・ガバラ(アル＝アハラーム新聞 副編集長)

(主 催) 一神教学際研究センター／笹川平和財団

(共 催) 神学部・神学研究科

* 入場無料・事前申込不要

* 英語による講演(逐次通訳あり)

【お問い合わせ】同志社大学一神教学際研究センター
TEL:075-251-3972

● 公開講演会

「イスラエル北部のテル・エンゲヴ遺跡とテル・レヘシュ遺跡の発掘調査」

【日 時】2010年6月19日(土)14:00～16:00

【会 場】今出川キャンパス 明徳館1階 M1教室

【講 師】山内 紀嗣(天理大学付属天理参考館 学芸員)

【テーマ】イスラエル北部のテル・エンゲヴ遺跡とテル・レヘシュ遺跡の発掘調査

主催：日本オリエント学会／一神教学際研究センター

共催：神学部・神学研究科

* 入場無料・事前申込不要

【お問い合わせ】同志社大学一神教学際研究センター
TEL:075-251-3972

第2回けいはんな「赤ちゃんにやさしい都市づくり」フォーラム

【日 時】2010年7月24日(土)10:30～

【会 場】京都府立けいはんなホール
(けいはんなプラザ内ー駐車場無料500台)

10:30～ (オープニング)せんとくんとあそぼう！

～かわいいキャラクターが大集合～

10:50～ (お話)「あそびが生まれるとき」

ーあそびの中に子どもの力を見つけたら、きっと育児は楽しくなるー

加用 文男 京都教育大学幼児教育課 教授

小西 行郎 同志社大学赤ちゃん学研究センター長・小児科医

11:45～ (コンサート)「音であそぼう」

～子どもと一緒に楽しむコンサート～

12:45～ お楽しみ抽選会

【フォーラムへの申込・お問い合わせ】

京都府文化学術研究都市推進室

TEL:075-414-5195 FAX:075-414-5193

申込期間：7月20日(火)まで

☆同時開催 11:00～15:00 (申込不要)

フリーマーケット、小児科医、保健師による相談・計測コーナー
交流広場、企業展示

ひとり暮らし相談会実施

下記のとおり「ひとり暮らし相談会」を実施します。

大学が業務委託（2年間の必要経費が502,000円以下の低額下宿物件の紹介）している(株)学生情報センターの社員が相談をしてくれますのでお気軽にお立ち寄りください。

【日 時】2010年5月10日～7月26日毎週(月) 12:00～15:00

【場 所】京田辺校地 学生支援課事務室内(副業館1階)

今出川校地 尋真館1階入口ホール内

※両校地ともに7月19日(祝)も実施します

【相談事例】

「ドアを開けたら新聞の勧誘員で、断れずに契約してしまった」、「賃貸借契約で不明な点がある」、「実際に住んでみたら日当たりが悪かった」、「実家から通ってみたが、実際遠くてひとり暮らしを始めようかと思っている。どうやって探したらよいかわからない」、「安心できる家主さんの物件を紹介してほしい」等々。

■ キャンパスフェスタ案内

大学主催で卒業生・学生父母・受験生対象に開催されるイベントです。同志社卒業の著名OBによる講演会、入試説明会などが行われます。心理学部父母会では、心理学部地方懇談会を同時開催しますので、お近くにお住まいの方はぜひご参加ください。「キャンパスフェスタ」案内は同志社大学校友・父母課より、「心理学部地方懇談会」案内は心理学部父母会事務局より、郵送致します。

2010年度同志社キャンパス フェスタ 開催日程・会場		
開催日	開催地	会 場
10月3日(日)	東 京	六本木アカデミーヒルズ49 (地下鉄日比谷線「六本木」駅 徒歩3分)
10月9日(土)	金 沢	金沢エクセルホテル東急 (路線バス「香林坊」駅 徒歩1分)
10月23日(土)	松 山	国際ホテル松山 (市電「大街道」駅 徒歩5分)
11月3日(水・祝)	福 岡	アクロス福岡 (地下鉄「天神」駅 徒歩3分)
11月14日(日)	松 江	松江テルサ (JR「松江」駅 徒歩1分)
11月20日(土)	盛 岡	ホテルニューカリーナ (JR「盛岡」駅 徒歩8分)
11月21日(日)	福 島	福島ビューホテル (JR「福島」駅 徒歩1分)

※京都地区の心理学部地方懇談会は10月30日(土)同志社京田辺祭にて開催予定です。(詳細未定)

■ 学部学年歴

春学期	秋学期
-----	-----

2010年

4月1日(木)	春学期始め・入学式
2日(金) ～6日(火)	新入学生履修指導期間
4日(日) ～6日(火)	履修科目登録期間 ※1
7日(水)	講義開始
28日(水)	春学期学費納入最終日
30日(金)	休 日
5月1日(土)	
7月19日(月)	海の日(授業日)
27日(火)	講義最終日
28日(水)	期末試験開始
8月9日(月)	期末試験終了
10日(火)	夏期休暇開始
9月14日(火)	夏期休暇終了
15日(水)	在学生成績通知書配付 ※2
20日(月)	春学期終わり
25日(土)	春学期卒業式・学位授与式

※1)一般登録科目の履修科目登録日は、この期間内の年次毎に指定された日となります。
また、前年度3月の成績通知書配付日以降、この履修科目登録期間までに、先行登録期間が設定されます。
※2)成績通知書配付日以降、履修科目登録変更までに、先行登録期間が設定されます。 ※3)10月30日(土)は、平常どおり授業を実施します。
※4)成績通知書配付日以降、翌年度、4月の履修科目登録期間までに、先行登録期間が設定されます。

9月21日(火)	秋学期始め
22日(水)	履修科目登録変更
24日(金)	講義開始
25日(土)	講義開始
10月11日(月)	体育の日(授業日)
29日(金)	秋学期学費納入最終日
30日(土)	同志社京田辺祭 ※3
31日(日)	(スポーツフェスティバル)
11月26日(金) ～28日(日)	準備 創立記念行事週間(休講)
29日(月)	創立記念日(休日)
12月25日(土)	キリスト降誕日(休日)
28日(火)	冬期休暇開始

2011年

1月5日(水)	冬期休暇終了
6日(木)	講義再開
23日(日)	創立者永眠の日
26日(水)	講義最終日
27日(木)	期末試験開始
2月16日(水)	期末試験終了
3月上旬	卒業可否発表
3月20日(日) ～22日(火)	秋学期卒業式・学位授与式
24日(木)	在学生成績通知書配付 ※4
31日(木)	秋学期終わり

(名称)

第1条 本会は、同志社大学心理学部父母会と称する。

(目的)

第2条 本会は、同志社大学心理学部(以下「学部」という。))の教育方針に則り、教員と学部在籍する学生の父母又はこれに準ずる者(以下「学生の父母」という。))との連絡を密にし、学生の就学を支援するとともに、学部の教育研究事業を援助し、学部の充実発展に寄与することを目的とする。

(会員)

第3条 本会は、次の会員をもって組織する。

- (1) 父母会員 学生の父母
- (2) 参与会員 学部所属する専任教職員 若干名
- (3) 賛助会員 本会の趣旨に賛同し、これに援助を与える者

(事業)

第4条 本会は、その目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 学部と学生の父母との連絡を図る行事
- (2) 学生の教育、厚生、就職等に必要とする事業に対する援助
- (3) 学部の教育研究上、必要な施設の拡充及び学術研究に対する援助
- (4) 会報の発行及び配付
- (5) その他本会の目的を達成するために必要と認めた事業

(総会)

第5条 本会に総会を置く。総会は定期総会と臨時総会とする。

- 2 定期総会は毎年1回開催し、臨時総会は役員会の議を経て臨時に開催する。
- 3 総会は全会員をもって構成し、会長が議長となる。
- 4 総会の議事は、出席者の過半数をもって決定する。
- 5 定期総会は、次の事項を決定する。
 - (1) 役員を選出
 - (2) 会則の改正
 - (3) 事業計画、予算及び決算
 - (4) その他重要事項

(役員及び役員会)

第6条 本会は、事業推進と企画立案のため次の役員を置き、その役員をもって役員会を構成する。

- (1) 会 長 1名
- (2) 副会長 2名
- (3) 会 計 1名
- (4) 委 員 若干名
- (5) 監 事 1名

第7条 役員は、次の方法によって選任する。

- (1) 父母会員の中から選出する。
- (2) 役員は、役員会の推挙により、定期総会に諮って決定する。

第8条 役員は、次の職務を行う。

- (1) 会長は、会務を統括し、本会を代表する。
- (2) 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代行する。
- (3) 会計は、本会の会計を管理する。
- (4) 監事は、本会の会務及び会計を監査する。

第9条 役員の任期は1年とする。ただし、重任を妨げない。

第10条 役員会は、必要に応じ適宜開催し、次の事項を審議し、本会の事業を実施する。

- (1) 役員の推挙
- (2) 会則改正案の作成
- (3) 事業計画案、予算案及び決算案の作成
- (4) その他会務の運営、執行に関する事項

第11条 役員会は、緊急を要する案件は、総会に代り、審議、決定することができる。ただし、役員会で決定した事項は、総会において報告しなければならない。

第12条 役員会は、必要に応じて、この会則の施行に伴う細則、規程を定めることができる。

(運営資金)

第13条 本会の運営は、父母会員費、寄付金及びその他の収入による。

(父母会員費)

第14条 父母会員費は、学期額3,000円とする。ただし、学生が休学する場合は、父母会員費を免除する。

- 2 父母会員費は、毎学期の始めに納入しなければならない。
- 3 父母会員費の徴収は、大学に委託して行う。

(会計年度)

第15条 本会の会計年度は、毎年4月1日から翌年3月31日までとする。

(事務局及び職員)

第16条 本会の事務局を心理学部事務室内に設ける。

- 2 本会は、本会の庶務会計等の業務を処理するため、職員を置く。

附 則

この会則は、2009年7月18日から施行する。

心理学部ホームページを
ご活用ください！
詳しい情報を随時発信
しています。



同志社大学心理学部

検索

<http://psych.doshisha.ac.jp/index.html>



●重要なお知らせ

「心理学部父母会」ページのログインにはパスワードの入力が必要です。パスワードは毎春号にてお知らせします。

◎2010年度心理学部父母会ログインパスワード

「willbe10」 半角英数字

「在学生の方へフोटアルバム」ページもぜひご覧ください。
お子様たちの活動写真を掲載しています。

こちらもログインにはパスワードの入力が必要です。

◎2010年度心理学部PHOTOログインパスワード

「ts4scip」 半角英数字

ご父母のさまざまなご意見・感想などお待ちしております。

下記までご一報ください。

同志社大学 心理学部父母会会報 第2号

平成22年6月18日

編集・発行／同志社大学心理学部父母会

〒610-0394 京都府京田辺市多々羅都谷1-3

TEL : 0774-65-8220 FAX : 0774-65-8223

E-mail : snr-fubo@mail.doshisha.ac.jp

印刷／株式会社 石田大成社